

小学5年生のPRスピーチ指導（5月）

日時 平成27年5月1日（金）8：40～9：25（45分）
児童 小学5年生15名／授業者 柳谷直明（妹背牛町立妹背牛小学校長）

- 1 教材名 「PRスピーチ」
- 2 本時の目標（指導事項である「学習用語」はゴシック太字網掛けにした。）
 - (1) スピーチ（言語活動）を通してPR, 姿勢, 音量, 速度, 視線, 引用, 根拠（「学習用語」）を経験させる。
 - (2) 聞く活動を通して立腰, 視線, メモを経験させる。
 - (3) 交流を通して異同, 評価を経験させる。
- 3 本時の展開

配分	児童の学習活動	教師の働きかけ	留意点
0分	1 意欲喚起 スピーチが得意かな。 何も見ないスピーチを目指そう。引用を使ってスピーチしてみよう。 2 題材 アンパンマンの作者だ。 3 スピーチ みなさん、こんにちは。私の名前はきむらことみです。これから、やなせたかさんのPRを行います。お聞きください。わたしはやなせたかさんのこの言葉が好きです。「～。」なぜなら、～だからです。きっと、～の願いを込めたのだと思います。～。これでPRを終わります。有難うございました。	1 意欲喚起 何も見ず、みんなの前で堂々と話ができる人になってもらいたい。更に、引用を用いてよさを紹介するPRを覚えてほしい。例えば、今日は新聞記事を使ってスピーチしてみよう。 2 題材 今から1年半前に94歳で亡くなったやなせたかさん。5歳の頃、お父さんが亡くなる。7歳でお母さんと別れる。弟は戦死する。苦勞した人こそ優しくなれる。新聞をあげよう。 3 スピーチ 好きな言葉を30字以内で決める。それを引用し、それを選んだ理由でスピーチしよう。話し手にPR, 姿勢, 音量, 速度, 視線, 引用, 根拠を指導。	漢字で板書し、振り仮名も書く。漢字に触れされると語彙が増える。 表現活動は抽象の見出しから具体へとメモさせる。 個人, 2人, グループ, 全体学習と発表規模を大きくしていく。 話し手と聞き手の両者を指導。挙手は肘を指導。称賛させ合わせる。
30分	4 交流 聞きやすい音量でした。速度がよかったです。	4 交流 聞き手に立腰, 視線, メモ, 異同, 評価を指導する。	

- 4 本時の評価 言語活動を通して「学習用語」を指導し、行為させたか。